

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

| | |
|-------|------------------------------------|
| 問い合わせ | 新美南吉記念館 館長 遠山光嗣 0569-26-4888 |
|-------|------------------------------------|

令和2年11月18日提供 (事前情報・事後情報)

| | |
|----------------|---|
| 名称 | 新美南吉も愛用した、昔懐かしい「ガリ版」を体験 |
| 日時 | 11月21日(土) ①10時～11時30分 ②13時30分～15時 2回とも各10人の定員に達しています |
| 場所 | 新美南吉記念館 工作室 |
| 趣旨 (目的) | 明治期から昭和40年代まで盛んに使われた謄写版(通称ガリ版)。年輩の方には懐かしく、若い方には新鮮なこの簡易印刷を体験していただきます。 |
| 内容 | ○好きな文字や絵を、鉄筆でロウ原紙に傷を付けるように描き、その穴から出るインクを紙に写して印刷します。 ○今回はクリスマスカードや年賀状にも使えるようにハガキ大の画用紙に印刷をします。 |
| 担当者 情熱メッセージ | ○新美南吉も手作りの詩集やテスト用紙をガリ版で作っています。旧制半田中学校時代には、自分だけの詩集が作りたくて、借金をしてまで自分専用のガリ版の機械を購入しています。ところが、次第に借金をしていることが苦になって来たようで、その心理を題材に小説も書いています。 「歯切れのよいガリガリ板の上で私の作品の一字一字を、味うように鑄(え)りてつけてたり、白い藁紙の上に、その作品が美しい文字の排列となるのを楽しんだり、カチンカチンとホチキスで綴じて一冊一冊のパンフレットに仕上げたり、そうすることには何という大きな歓喜が伴ったであろうか。しかし借金の意識におびやかされなかったらそれは一層楽しいことだったに違いない。」(無題小説「中学二年生の時」※通称「借錢」より) ○昨年初めて企画しましたが台風とコロナによる休館で2度とも中止になりました。今回は3度目の挑戦です。好評で既に定員になっていますので、ぜひ当日行事の様子を取材の上、ご紹介ください。 |
| 別紙 | 有(チラシ) |
| 写真 | 無 |

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603

